

4 建築工事

4. 5. 5 隣り合う継手の位置及び定着

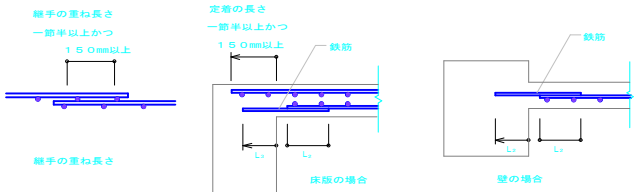
隣り合う継手の位置は、4. 5. 4表により、a寸法を守ること。

ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

4. 5. 4表 隣り合う継手の位置

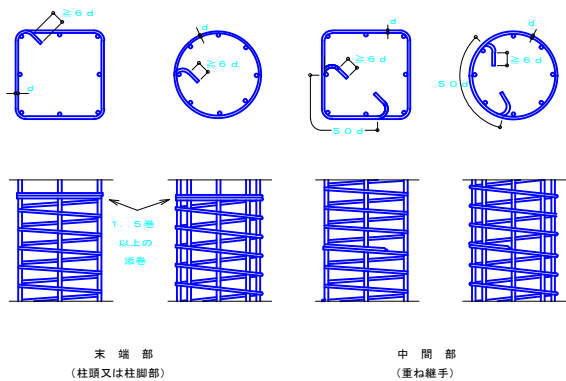
条 件		重ねる場合	離す場合
重ね 継 手	フック有りの場合		
	フックなしの場合		
圧接 継 手			

(1) 溶接金網の継手及び定着



4. 5. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

(2) スパイラル筋の継手及び定着



4. 5. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

4. 6 柱筋の継手位置

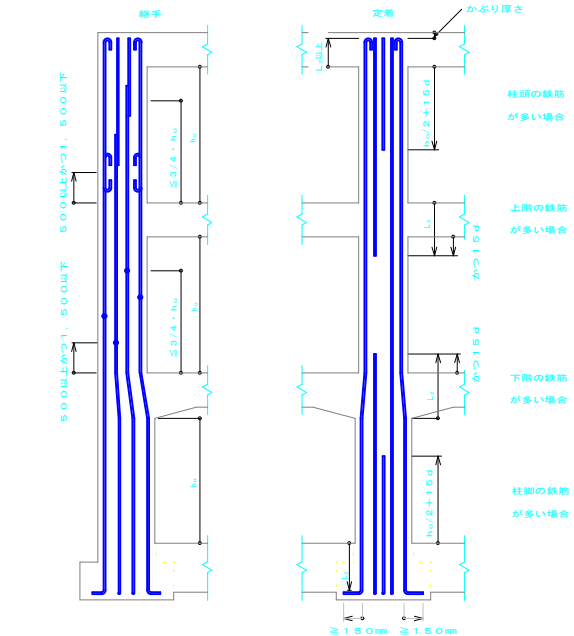
4. 6. 1 継手及び圧接中心位置

(1) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ $3/4 h_o$ (h_o は柱の内法高さ) 以下とする。

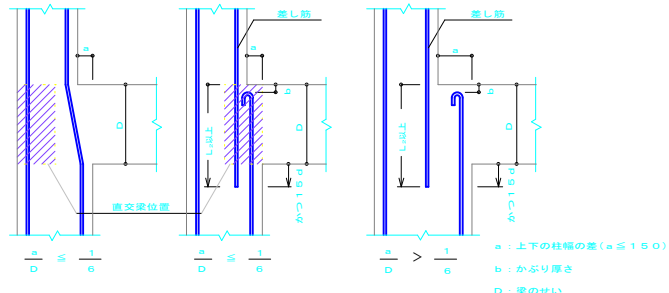
4. 7 柱筋の継手及び定着

4. 7. 1 隣り合う継手の位置及び定着

- (1) 継手長さは L_1 とし、定着及び余長は、4. 7. 1図による。
- (2) 柱頭定着長さ L_2 が確保出来ない場合は、図面による。
- (3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、4. 7. 2図による。



4. 7. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長

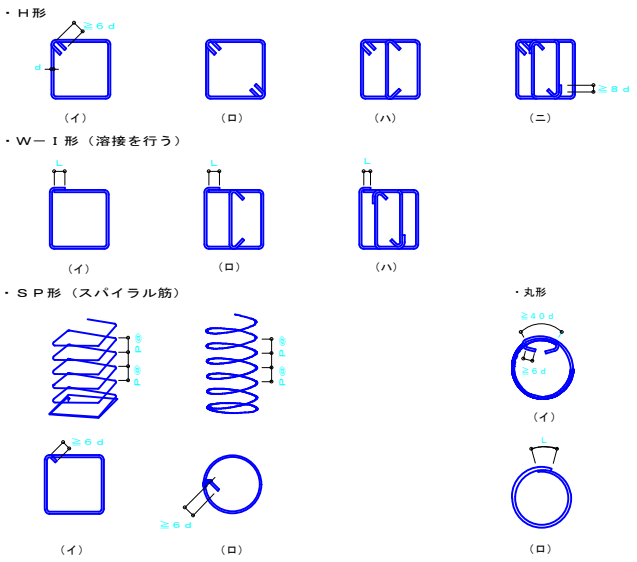


4. 7. 2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

4. 8 帯筋

4. 8. 1 帯筋の形状

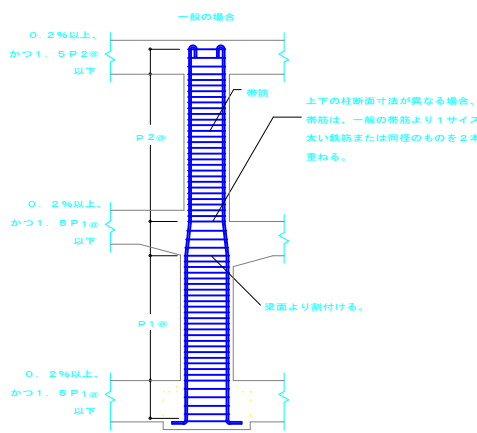
- (1) 帯筋の形状は、4. 8. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
 - (a) H形を標準とする。
 - (b) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
 - (c) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
 - (d) S-P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



4. 8. 1図 帯筋組立の形

4. 9 帯筋の割付け

- (1) フック及び継手の位置は交互とする。
- (2) 帯筋の割付けは、4. 9. 1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
- (3) 柱、梁の交差部 (パネルゾーン) の帯筋のせん断補強比は、0.2%以上を確保し、補強筋間隔 $\leq 1.5P$ とする。



4. 9. 1図 帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例 (0.2%確保)

柱幅(mm)	パネルゾーン
≤ 500	D10 @ 125
≤ 600	D10 @ 100
≤ 700	D10 @ 100
≤ 800	D13 @ 150
≤ 900	D13 @ 125
≤ 1000	D13 @ 125
≤ 1100	D13 @ 100
≤ 1200	D13 @ 100

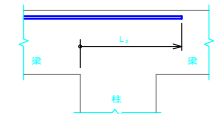
※ 1.5P₁、1.5P₂のピッチは150mm以下とする。

4. 10 大梁筋の継手及び定着

4. 10. 1 大梁 (基礎梁以外の大梁に限る) 主筋の継手、定着及び余長

(1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。
- ただし、やむ得ず梁内に定着する場合は、4. 10. 1図による。



4. 10. 1図 梁主筋の梁内定着

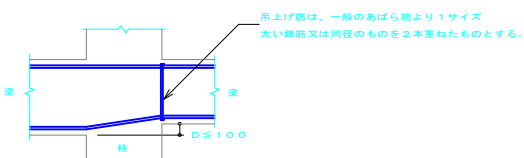
- b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。

なお、定着の方法は、4. 5. 4による。

上端筋：曲げ下ろす。

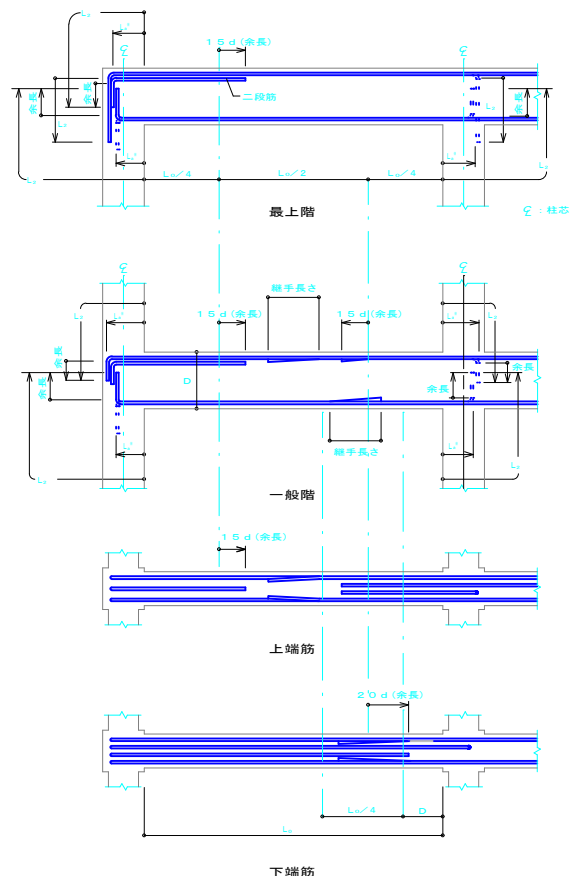
下端筋：原則として曲げ上げる。

- c. 段違い梁は4. 10. 2図による。



4. 10. 2図 段違い梁

4. 10. 2 ハンチのない場合



(注) 1. 継手中心位置は次による。

上端筋：中央 $L_o/2$ 以内

下端筋：柱面より梁せい(D)以上離し、 $L_o/4$ を加えた範囲以内

2. 4. 2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。

3. 印は、継手及び余長を示す。

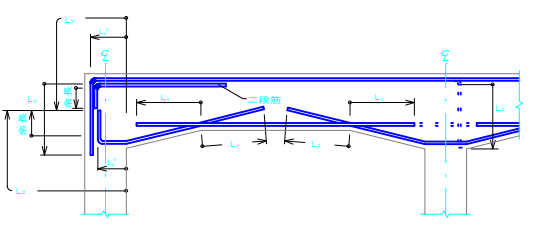
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。

※ L_a は、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの $3/4$ 倍以上とする。

4. 10. 3図 大梁の重ね継手、定着及び余長

4. 10. 3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



※ L_a は、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの $3/4$ 倍以上とする。

4. 10. 4図 ハンチのある大梁の定着及び余長 (最上階)

事業名		南魚沼市上水道事業			
工事名		令和2年度 改良第7号 上田配水池建設工事			
施工地名		南魚沼市 蟹沢新田 地内			
構造細目共通図（複合構造物）（9）		縮尺		図示	
図面番号		着手日		令和	年 月 日
第53/6号		工期		竣工日 令和 年 月 日	
発注者	南 魚 沼 市 長		監督員 （配管）	総括	水道課 上村 栄二
				主任	水道課 上村 優
請負者					